

## 令和3年度 第1回学校運営協議会

2021年6月25日  
於 会議室

### 【構成メンバー：（協議会委員）】

山田 亨・中西 均・桑原 武志・若田 淳子・植森 裕子・片岡 佳林

### 【構成メンバー：（事務局「学校側」）】

石村 佳之（校長）・服部 有晋（教頭）・片倉 勝則（事務長）・坂橋 徹（首席教諭・進路指導主事）

豕瀬 克徳（教務主任）・岡田 泰典（生徒指導主事）・藤本 祐貴（保健指導主事）

乾 実代子（文化広報部長）・吉村 遼（書記） 以上15名

### 0. 開催を前に

6月23日に実施した体育祭について、無観客での実施とLIVE配信について報告。

### 1. 校長挨拶

### 2. 協議会委員の挨拶

### 3. 事務局（学校側）の紹介

### 4. 協議会会長、副会長の選出

会長：山田 亨

副会長：中西 均（敬称略）

### 5. 会長挨拶

### 6. 協議項目【司会：会長】（発言者「委」：協議会委員、「学」：事務局（学校側））

#### （1）令和2年度学校評価、令和3年度学校経営計画について

##### 学：●学校教育自己診断の結果より説明

- ・生徒、保護者双方から高い評価をいただいている。
- ・昨年度はコロナ禍の影響で行事が予定通り実施することができなかつたが、評価が下がることは少なかつた。しかしながら項目によっては今後の課題となるものも幾つか見受けられる。

##### ●働き方改革について

- ・前年度は4,5月が臨時休業となり、時間外労働が減少した。しかし、今年度は現在のところ休業はなく、また今年度から実施された労働時間の集計方法の変更により増加する可能性が考えられる。

##### ●令和4年度からの観点別評価について

- ・教務部長がパイロット校にて研修を受けるなど対応を進めている。
- ・現在、1学期末の成績を観点別評価にて試行予定。

### ●G I G A スクール構想

- ・9月末までには府下すべての高校にタブレット PC (Chromebook) が一人一台配備される予定。
- ・今後は効果的な使用、運用を検討する。

### 【ご意見、質疑応答】(学校教育自己診断関係)

委：これだけ生徒の評価が高いのは好ましい。今後も継続してほしい。

委：生徒の満足度の高さは教員の献身的な指導の結果だと思われる。

委：家庭での会話の中でも学校での様子や、先生の発言などが話題となり、学校を楽しんでいることがうかがえる。

委Q：観点別評価は今年から試験的に実施するということだったが、どのように取り組んでいるのか？

学A：1学期末の成績算出において、各教科で現在の規準と並行し観点別での評価を試行予定。

学Q：中学校では既に観点別評価が導入されているが、具体的にどのようにされていますか。

委A：中学校では既に観点別評価が主である。移行までには多くの研修を重ねた。

また評価の主体はこれまでの中間考查や、期末考查から、単元ごとのテストに変わっている。

### 【ご意見、質疑応答】(通学、下校指導関係)

委Q：通学安全指導、PTA の指導は連動しているのか。どのような役割になっているのか。

学A：教員の行う指導と、PTA の指導にはそれぞれの意図がある。

PTA の皆さんには年に 5～6 回参加いただいている。先ずは通学の現状を知っていただくことで、保護者の目線で注意喚起を行っていただきたい。

委Q：毎日下校の際は指導されているか。

学A：掃除の指導などもあり、すべての場所に一斉に立つのは難しいが、当番制にし、毎日指導を行っている。また、連絡があればすぐに対応できるようにしています。

## (2) 本校の活動紹介 (Web による国際交流)

### ※会議室より、活動教室へ移動

- ・本校のイングリッシュクラブの生徒が Zoom 会議システムを利用し、フィリピンの学生と交流する様子をご覧いただいた。
- ・既に今回で 2 回目だが、新たな交流の形として活性化していきたい。

### ※会議室へ移動

### 【質疑応答】(国際交流について)

委Q：一人一台、タブレット P C (Chromebook) が配備されることになれば、Zoom 等で多くの生徒が交流することもできるのではないか。

学A：Web 会議システムでの交流はメリットを享受できるのは、1対1 や、1対多での場合で、人数が増え、多対多となると難しくなるので、現時点ではクラス単位など大勢での交流は考えていないが、交流そのものは増やしていきたいと考えている。

### (3) 進路結果報告

・国公立大進学 4 名、私立大合格者は延べ 637 名

また、例年に比べて一般入試の後期まで努力したことで合格を手にした生徒も多い。

前年に比べ 1 クラス減のなか、関関同立、産近甲龍の合格者が増加した。

### (4) 学校経営推進費

・今年度は目的を絞り「アクティブ音楽コース」での申請を行い、結果獲得することができた。

## 7. 校長謝辞